

古文を現代語訳してみよう。古文は日本語だから、カクゴキ単語帳を見ながら考えれば、自力でできる。

カクゴキ単語帳	本文	現代語訳
<ul style="list-style-type: none"> • 男=ある男 • ありけり=あった、いた 	<p>昔、男ありけり</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 身は=身分は • いやしなから=低いが、 	<p>身はいやしなから</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 母なる=母は • 宮=皇族 • なりける=だった 	<p>母なる宮なりける。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 住み給ひけり=住んでおられた • 京に=京都で • 宮仕へ=宮廷勤め 	<p>その母 皇國とらふ所に住み給ひけり。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • つけば=していたので • あつづ= (母のまじに) 伺おう 	<p>今は京に宮仕へつけば、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • つつたれむ=つつたれむが、 • つはつは=たひたり 	<p>あつづつつたれむ、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • えまつてあ=伺つじまつてまほし。 ※えつち=てまほし 	<p>つはつはえまつてあ。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 一人に=一人に • になくありければ=でもあったら、 	<p>一人になくありければ、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • いふ=とてお • かなしつこ=回懸かこて • 給ひけり=おられた。 	<p>いふかなしつこ給ひけり。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • ちるじ=そつちるつたじ • 十一段ばかり=十一段じつ 	<p>ちるじ、十一段ばかりじ、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 七のらじつ=七のらじつ • して=してこつ • 御文あり=お手紙がある 	<p>七のらじつして御文あり。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 見れば=見ると • 歌あり=歌が書いてある 	<p>見ると見れば、歌あり。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> • 若いぬれば＝若いときほど • さらぬ別れの＝避けられない別れが ※死別のこと • あつといへば＝あるといつので • いよいよ＝ますます • 見まほしき＝会いたい • 君かな＝あなたなのです。 • かの子、＝その子が、 • いたつち泣きて＝急に大泣きして • よめる＝詠んだ歌 ・世の中に＝この世に • さらぬ別れの＝避けられない別れが • なくもがな＝なければいいのに • 千代もと＝千年も長生きを • 人の子のため＝その人の子どものために 	若いぬれば	
	さらぬ別れのありといへば	
	いよいよ見まほしき君かな	
	かの子、いたつち泣きてよめる。	
	世の中にさらぬ別れのなくもがな	
	千代もと祈る人の子のため	

古典A 伊勢物語 つひにゆく道

教科書P39

<ul style="list-style-type: none"> • わづらふ＝瘧気になる • 心地＝気持ち（悪くて） • 死ぬべく＝死にそうに • おぼえければ、＝感じたので • つひに＝最後に ・道とは＝道たとは • かねて＝前から • 聞きしかど＝聞いていただけよ • 昨日今日とは＝昨日今日のこととは • 思はれりしを＝思わなかったよ。 	昔、男、わづらひて	
	心地死ぬべくおぼえければ	
	つひにゆく道とは	
	かねて聞きしかど	
	昨日今日とは思はれりしを	